

単元名 (旧)ギコギコクリエイター(工作)

配当時間 6時間

- 単元の目標 (1) 材料の形を生かしながら、つなぎ方を工夫することができる。
 (2) 木や板を切って組み合わせてできる形から、自分の表したいものを発想することができる。

自分と友達の作品を見て、表し方のよさや面白さなど表現の工夫をとらえることができる。
 (3) のこぎりで木を切ることに興味をもち、思い付いたものをつくることに取り組もうとする。

標準的な展開

04080210_001

【準備等】木切れ、板材、のこぎり、金づち、釘、クランプ、万力、木工用接着剤、水彩用具一式、作品カード

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 教科書を参考にして学習課題をつかみ、構想を練る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書の作品を見て、学習課題をつかむ。 ★木切れや板をのこぎりで切って、組み合わせたりくぎでつないだりして、楽しいものをつくろう 集めた木を並べたり組み合わせたりして、つくりたいものを考える。 アイデアスケッチをし、作品をつくる計画を立てる。 <ul style="list-style-type: none"> カレンダー えんぴつ立て 額縁 <p>2～5 計画に従って作品をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> のこぎりの使い方を知る。 <ul style="list-style-type: none"> のこぎりの種類 切るときの姿勢 万力やクランプの使い方 アイデアスケッチを参考に、材料をのこぎりで切る。 材料を着色する。 金づちと釘を使って材料を組み合わせ、作品を完成させる。 <p>6 作品を鑑賞し、よいところを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品のねらいを作品カードに記入する。 友達の作品を鑑賞し、よいところを話し合う。(言語活動) 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書3・4下 P.34, 35 事前に材料を十分に集めておく。 実際に材料に触れて考えることで、発想を広げさせる。 材料を基にして、具体的な計画を立てるようにする。 教科書P.54, 55, 56を参考にして、のこぎりや万力、クランプの使い方を知る。 のこぎりを使用するのは初めての経験であるため、道具の使い方を丁寧に指導する。 安全に十分に配慮する。 のこぎりで木を切るときは、木をしっかり押さえる。押さえにくい場合はクランプや万力を使用する。 【評】のこぎり、クランプなどの道具を安全に使用し、思い通りに材料を切ったりつなぎ方を工夫したりして表す活動を通して、「創造的な技能」を評価する。 材料を彩色する場合は、この段階で水彩絵の具を使って着色する。 絵の具の発色がよくなるように、水を少なめにするとうい。 金づちの使い方については前学年で学習しているが、安全面について再度指導するとよい。 道具の片付け方を指導する。 友達と作品を見せ合い、いろいろな表し方、木のつなぎ方による感じの違いなどを話し合わせる。

【 備 考 】